

2022年 2月 子育てワンポイント

テーマ 「きょうだいげんか」

～親はどう関わったらいいの?～

きょうだいげんかは、保護者のストレスの元凶とよく言われています。繰り返されるケンカに保護者が疲れてしまうといったことはよくあると思われます。果たしてこのきょうだいげんかは悪い事なのでしょうか…。きょうだいげんかについて親の関わり方のポイントについて考えていきたいと思います。

きょうだいげんかが起きる原因はいろいろと考えられますが、お互いの意見が違うことが原因となる場合は多いです。



《きょうだいげんかが大切な理由》

- ①我慢を学ぶことができる ⇒ すべてが思った通りに行かないことを学ぶ場でもある
- ②手加減が学べる ⇒ どこまでやって許されるのかさじ加減を学ぶことができ、その経験はいずれ、外で友だちとケンカした時に対人スキルとして役立ちます。
- ③競争して学べる場である ⇒ 社会にでると競争するといったことは避けられません。当然ながら勝ったり負けたりします。その時の気持ちが心の成長にもつながります。

きょうだいげんかの経験が、外での競争がどんなものであるか、相手の気持ちや思いやりを学ぶ場であり社会性を育むことにつながりとも言えます。また、感情の表出をすることによってストレス発散にもつながるでしょう。

きょうだいげんかを
する時のルール

- ・ 噛まない
- ・ 武器は使わない
- ・ 顔や頭は叩かない
- ・ 物を投げない
- ・ 戦う気がない時は攻撃しない など

きょうだいげんかが起
きた時の親の関わり方

- ・ 勝ち負けを決めない
- ・ 年上の子に我慢を強いてはならない
- ・ どちらかに肩入れしない など

両者の言いたいことを伝える役割が親であり、相手の気持ちを伝えることで、相手の気持ちに気づき思いやりの気持ちを育むことにつなげていきたいですね。



決して比較したりせず、ケンカが起きた後にはフォローをして、いつまでも引きずらせず気分を変えてあげることも大切ですね。